

<平成22年統計版>

消防年報



郡上市消防本部

はじめに

この年報は、平成22年中における郡上市の消防現勢及び火災、救急、救助等の活動状況を収録したもので、将来の消防行政の参考に供し、市民総消防のもとに生活の安定を図り、災害のない明るい市づくりを実現することを目的として編集しました。

平成23年6月

郡 上 市 消 防 本 部



目 次

位 置 と 地 勢	1
構 成 地 域 別 面 積 及 び 人 口	2
消 防 本 部 の あ ゆ み	3

消防情勢

消 防 本 部 及 び 署 所 の 配 置	9
消 防 本 部 組 織 図、職 員 の 配 置 状 況	10
基 準 消 防 力 と 現 有 消 防 力 の 比 較	11
配 置 車 両 一 覧 表	12
消 防 職 員 年 齢 別 調 査 表	13
消 防 職 員 勤 務 年 数 表、住 居 地 状 況	14
消 防 職 員 特 技 資 格 取 得 状 況	15
岐 阜 県 消 防 学 校 等 入 校 状 況	16
消 防 通 信 系 統 図	17
通 信 施 設 一 覧 表	18
消 防 相 互 応 援 協 定	19

火災統計

平 成 2 2 年 の 火 災 概 況	20
出 火 原 因 別 火 災 発 生 状 況	21
地 域 別 火 災 状 況、月 別 火 災 原 因 状 況	23
時 間 ・ 月 別 火 災 発 生 状 況 比 較 表	24
出 火 原 因 別 火 災 状 況 比 較 表	25
過 去 5 年 間 の 火 災 推 移	26

救急統計

平 成 2 2 年 の 救 急 概 要	27
地 域 別 救 急 活 動 状 況	28
月 別 救 急 活 動 状 況	29
曜 日 別 出 場 件 数、傷 病 程 度 月 ・ 事 故 種 別 搬 送 人 員	30
年 齢 ・ 事 故 種 別 搬 送 人 員、救 急 隊 の 行 っ た 応 急 処 置	31
発 生 場 所 別 搬 送 人 員、収 容 所 要 時 間 の 状 況、医 療 機 関 別 搬 送 人 員	32
過 去 5 年 間 の 救 急 推 移	33
地 域 別 医 療 情 報 案 内 状 況、月 別 医 療 情 報 案 内 状 況	34

救助統計

平成22年の救助概要	35
署所別救助出場件数、地域別救助活動状況	36
月別救助活動状況	37
過去5年間の救助推移	38

予 防

防火対象物一覧表	39
防火管理者を必要とする防火対象物	40
4階以上の建築物一覧表、建築物確認申請同意状況、各種届出状況	41
危険物製造所等地区・倍数別設置状況	42
危険物製造所等規制状況	43
高圧ガス保安法、火薬類取締法	44
広報住民指導等実施状況	45

通信・気象統計

通信指令室月別受理状況	46
緊急通報システム受信状況	47
気象統計	48
降雨量	49

消防団・女性・少年・幼年クラブ等

消防団現勢表	50
消防団員年齢・勤続年数表	51
消防用水利現況	52
女性防火クラブ現勢表	53
少年消防クラブ現勢表	54
幼年消防クラブ現勢表	55
民間消防組織	56
郡上市医師会救護隊編成表	57
郡上地域M・C協議会	58

位置と地勢

当市は、岐阜県の西北部にあって長良川の上流に位置している。本地域は、中部圏のほぼ中心で、岐阜市より57kmのところまに位置し、南北52km、東西およそ34kmの行政区域からなっている。

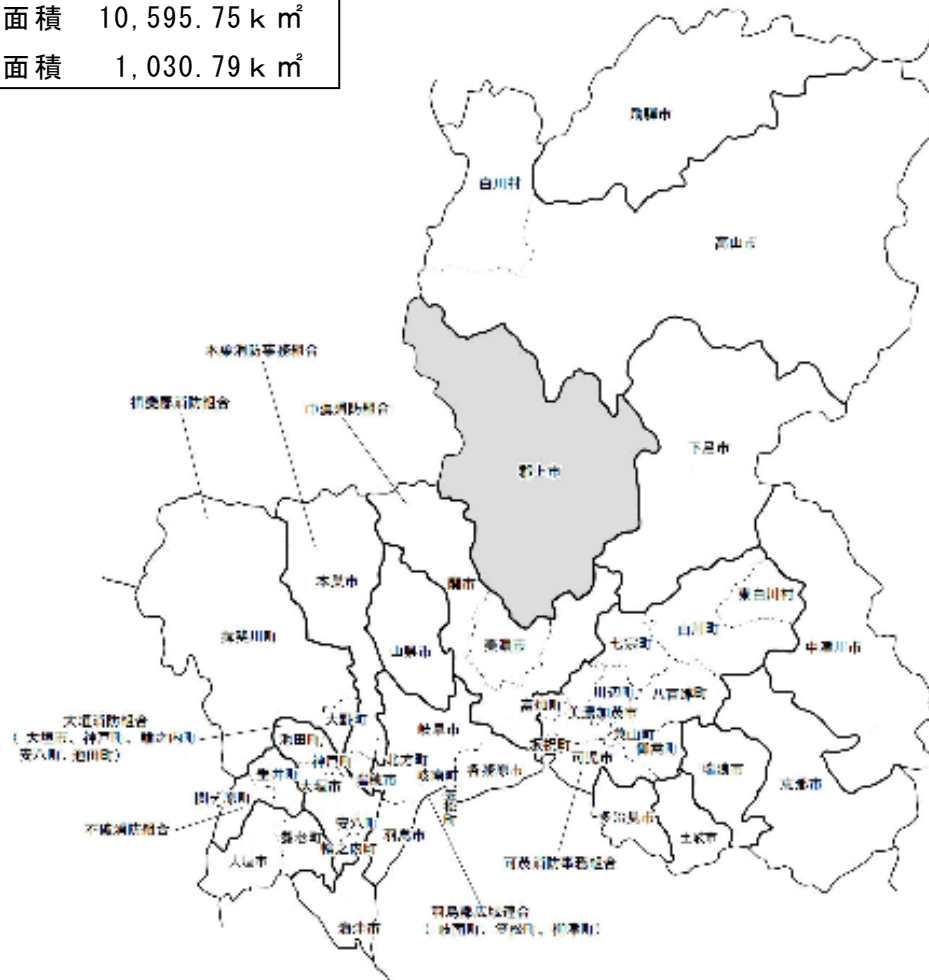
消防本部の位置	
東経	136° 58' 20"
北緯	35° 45' 07"
海拔	234メートル

気候は、北部は、白山山系に連なる寒冷地域に属するため気温が低く降雪量が多い。南部は、北部に比べ温和で降雪量は比較的少ない。

地形は、山岳部は、急峻で標高は、110mから1,810mと高低差が大きく北部の大日岳一帯は雄大で、ひるがの、上野台地の高原地帯となっている。

交通網は長良川に沿って北上する国道156号線と長良川鉄道を根幹とし、美濃と下呂を結ぶ国道256号線、472号線が重要な役割を果たしている。東海北陸自動車道も名神高速道路と平成10年12月に一宮JCでつながり、東海地方と北陸地方を結ぶ重要な交通網となるこの路線が、平成20年には全線開通、平成21年には白鳥ICまで4車線化となり、さらなる圏域の活性化に大きな効果を与えるものと期待される。そして、長良川の豊富な水源ならびに山の自然美と合わせて、夏は郡上踊りに代表される盆踊り、冬は奥美濃スキー場等多くの観光資源に恵まれている。

県総面積	10,595.75 k ²
管内面積	1,030.79 k ²

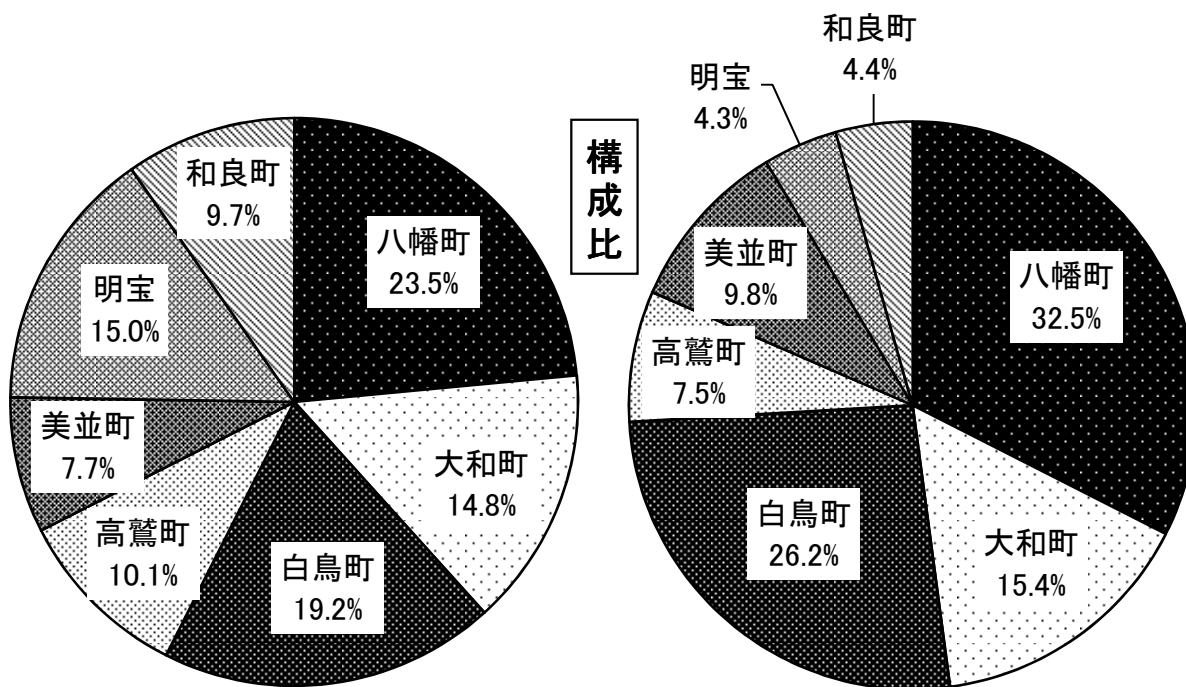


地域別面積及び人口

(平成23年4月1日現在)

面積 1,030.79km²

人口 46,156人



	面積 (k m ²)	世帯数	人口	人口密度(人/km ²)
八幡町	242.31	5,428	14,995	61.88
大和町	152.48	2,068	7,118	46.68
白鳥町	197.43	3,737	12,074	61.16
高鷺町	103.71	1,051	3,445	33.22
美並町	79.81	1,352	4,537	56.85
明宝	154.86	577	1,967	12.70
和良町	100.19	684	2,020	20.16
合計	1,030.79	14,897	46,156	41.81

郡上市消防本部のあゆみ

昭和52年	4月	1日	郡上広域行政事務組合消防本部設置 初代消防長 中沢耕作就任 消防吏員34名採用
	5月	1日	消防吏員4名採用（計38名）
	10月	28日	八幡消防署に水槽付消防自動車を配備
	11月	1日	白鳥消防分署に消防ポンプ自動車を配備
	12月	2日	消防本部に指令車を配備
昭和53年	2月	2日	八幡消防署に救急自動車を配備
	3月	1日	白鳥消防分署、大和、高鷲、美並各消防出張所に救急自動車を配備
	4月	1日	郡上広域消防本部に消防無線基地局を設置 白鳥消防分署を白鳥消防署に昇格 消防吏員7名採用（計45名）
	7月	5日	郡上郡防火管理者講習会を開催
昭和54年	12月	15日	明方消防出張所に連絡車を配備
	4月	1日	消防吏員2名採用（計47名）
	7月	16日	訓練塔購入
昭和55年	4月	1日	消防吏員17名採用（計64名）
	4月	10日	和良消防出張所に救急自動車を配備
	4月	14日	八幡消防署・白鳥消防署に救護車を配備
	4月	21日	2代目消防長 村瀬廣治就任
	6月	2日	気象観測装置購入
	9月29・30日		郡上郡防火管理者講習会（南部）
	10月14・15日		郡上郡防火管理者講習会（北部）
昭和56年	1月	23日	八幡消防署に化学消防ポンプ自動車を配備
	1月	31日	消防本部に救助工作車を配備
	4月	1日	消防吏員4名採用（計68名）
	5月	28日	消防本部に指令車を配備
	7月	12日	豪雨により郡内各地に災害が発生 八幡町で住宅1戸が浸水して孤立（3名救助）
昭和57年	11月	13日	白鳥消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配備
	3月	31日	職員7名出向を解き町村へ
	4月	1日	機構改革により5出張所を廃止し、八幡消防署を中消防署に、白鳥消防署を北消防署に改名。中消防署管轄が八幡町、美並村、明宝村、和良村、北消防署管轄が白鳥町、大和町、高鷲村となる 消防吏員7名採用（計68名）

	6月	5日	中消防署に救急自動車を配備
昭和57年	11月	24・25日	郡上郡防火管理者講習会
昭和58年	1月	26日	中濃消防組合と応援協定の締結
	3月	1日	益田広域事務組合と応援協定の締結
	3月	31日	職員3名出向を解き町村へ 職員1名退職
	4月	1日	消防吏員3名 事務吏員1名採用
	5月	17日	消防本部に指令車を配備
	6月	13日	高圧ガス製造所設置
	7月	13・14日	郡上郡防火管理者講習会開催
	8月	1日	長良川上流の局地的な大雨による増水により八幡、 大和地内の中洲に釣り人7名が孤立し救助する。 (自衛隊ヘリコプター2名、本部救助隊5名)
	8月	31日	職員1名退職
昭和59年	12月	1日	救急医療情報システム開始
	3月	29日	災害用トラック郡上漁業組合より寄贈
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ
	4月	1日	消防吏員4名採用
	6月	1日	職員2名出向を解き町村へ 消防吏員1名採用
	7月	11・12日	郡上郡防火管理者講習会開催
	8月	30日	防火パトロール車(サニー)をロータリークラブか ら寄贈
	10月	15日	査察車(ダイハツミラ)を郡上南部石油組合から寄 贈
昭和60年	12月	22日	北消防署に指令車を配備
	3月	1日	救急指令装置運用開始 テレホンサービス業務同時開始
	4月	1日	機構改革により職員7名出向を解き町村へ 消防職員61名体制となる
昭和61年	12月	12日	中消防署に救急自動車を配備
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ
	4月	1日	消防吏員2名を採用
	7月	23日	北消防署に災害用トラックを1台配備
	8月	12日	消防専用無線電話3機購入 可搬式送水装置一式購入
昭和62年	2月	17日	日本自動車工業会より救急車1台を寄贈(北消防署 配備)
	2月	27日	消防本部・中消防署庁舎、訓練塔完成
昭和63年	3月	31日	職員4名出向を解き町村へ

	4月	1日	消防本部に専任救助隊7名を持って発足 消防吏員4名採用
平成 1年	3月	31日	職員1名退職
	4月	1日	消防吏員1名を採用
	8月	24日	日本損害保険協会よりタンク車1台を寄贈（中消防署配備）
	8月	25日	日本消防協会より指令車1台を寄贈（北消防署配備）
平成 2年	2月	21日	日本自動車工業会より救急車1台を寄贈（北消防署配備）
	3月	12日	八幡信用金庫より救急車1台を寄贈（中消防署配備）
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ
	4月	1日	消防吏員1名を採用 消防本部組織改正 （庶務係、通信指令室、予防係、救助係を消防課とする）
	5月	1日	消防吏員1名を採用
平成 3年	3月	31日	職員3名出向を解き町村へ
	4月	1日	消防吏員3名を採用
平成 4年	3月	7日	日本自動車工業会、郡上信用組合より救急車1台を寄贈（和良村へ配備）
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ
	4月	1日	消防吏員1名を採用
	4月	8日	北消防署庁舎竣工
	8月	1日	消防吏員1名を採用
平成 5年	3月	4日	郡上八幡ロータリークラブより指令車1台を寄贈（カリブ 中消防署配備）
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ 職員1名退職
	4月	1日	消防吏員7名を採用
	5月	14日	職員1名退職
	10月	1日	消防本部組織改正 （消防課に救急係を設置し、救急救命士を配属する）
平成 6年	3月	25日	東海北陸自動車道開通 中消防署南出張所竣工
	3月	31日	職員2名出向を解き町村へ 消防本部に高規格救急車を配備
	4月	1日	消防吏員5名を採用
	4月	11日	消防本部に査察車を配備
	6月	2日	指令車を中消防署南出張所に配備
	11月	8日	緊急通報システム運用開始

			多重無線中継システム運用開始
			気象集配信システム運用開始
平成 7年	1月	17日	阪神淡路大震災 災害応援出動（計4回、23人）
	1月	27日	救急Ⅱ課程研修開講式
平成 7年	3月	22日	中消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配備
	3月	31日	2代目消防長 村瀬廣治氏退職 職員2名出向を解き町村へ
	4月	1日	3代目消防長 坪井隆積就任 消防吏員2名を採用（計67名）
	4月	14日	救急Ⅱ課程研修閉講式
	10月	13日	救急救命士に対する医師の指示体制確立 心電図送受信システム運用開始（郡上中央病院）
平成 8年	1月	9日	北消防署に指令車を配備
	1月	23日	救急救命士に対する医師の指示体制確立 心電図送受信システム運用開始（鷺見病院）
	3月	31日	3代目消防長 坪井隆積氏退職 職員1名出向を解き町村へ
	4月	1日	4代目消防長 谷澤巖就任 消防吏員4名を採用（計70名）
	4月	18日	東海北陸自動車道美並村～八幡町間開通
	6月	20日	心電図送受信システム運用開始（八幡病院・和良病院）
平成 9年	1月	1日	岐阜県防災航空隊へ職員1名派遣
	1月	24日	消防本部に救助工作車Ⅱ型を配備
	3月	19日	北消防署に高規格救急車を配備
	3月	20日	心電図送受信システム運用開始（白鳥病院）
	3月	31日	職員1名退職
	4月	1日	消防吏員4名を採用（計73名） 消防本部組織改正 （消防課に警防係を設置し、中消防署・北消防署に 救助係・救急係を設置する。）
	11月	10日	東海北陸自動車道八幡町～白鳥町間開通
平成 10年	3月	26日	消防本部に水防車を配備
	3月	31日	4代目消防長 谷澤巖氏八幡町に転出
	4月	1日	5代目消防長 野田公平就任 消防吏員2名を採用（計75名）
平成 11年	2月	17日	北消防署に救助工作車Ⅱ型を配備
	4月	1日	大野地区消防組合と応援協定の締結
	4月	26日	中部縦貫自動車道白鳥西IC～油坂峠料金所間開通

平成12年	11月	27日	東海北陸自動車道白鳥町～高鷲村間開通	
	3月	31日	5代目消防長 野田公平氏退職	
	4月	1日	6代目消防長 柳澤 勉就任 郡上広域連合消防本部に名称変更 消防吏員1名を採用（計76名）	
平成13年	9月	25日	消防本部に指令車(マークII)を配備(大垣共立銀行寄贈)	
	1月	23日	北消防署に水槽付消防ポンプ自動車を配備	
	3月	31日	職員1名退職 6代目消防長 柳澤 勉氏退職	
	4月	1日	7代目消防長 藤田 清就任	
	8月	1日	消防吏員1名を採用（計76名）	
平成14年	11月	20日	南出張所に高規格救急車を配備	
	4月	4日	消防防災支援要員2名を採用	
	9月	30日	消防防災支援要員2名雇用期間満了	
	10月	1日	消防防災支援要員2名を採用	
平成15年	12月	25日	中消防署に化学消防ポンプ自動車を配備	
	3月	30日	消防防災支援要員2名雇用期間満了	
	3月	31日	7代目消防長 藤田 清氏退職（計75名）	
	4月	1日	8代目消防長 高垣武夫就任 岐阜県防災航空隊へ職員1名派遣	
	5月	1日	消防防災支援要員2名を採用	
	10月	2日	中消防署、北消防署に災害用トラックを配備	
	10月	9日	消防防災支援要員2名を採用	
	10月	15日	消防防災支援要員2名雇用期間満了	
平成16年	12月	25日	高機能消防指令センター完成運用開始	
	3月	1日	郡上郡7町村の町村合併で郡上市の誕生に伴い、郡上市消防本部に組織変更 職員1名合併により増員（他部局からの異動）	
	3月	23日	消防防災支援要員2名雇用期間満了	
	3月	31日	職員1名退職（計75名）	
	5月	6日	消防防災支援要員1名を採用	
	6月	1日	消防吏員1名を採用（計76名）	
	10月	15日	消防防災支援要員1名雇用期間満了	
	12月	27日	消防本部に査察車(CR-V)を配備 消防団本部に指令車(エスティマ)を配備	
	平成17年	2月	25日	中消防署に小型動力ポンプ付水槽車(I型)を配備
		3月	31日	8代目消防長 高垣武夫氏市へ人事異動
4月		1日	9代目消防長 曾我金一就任	
10月		2日	中消防署、北消防署に高規格救急車を配備	

	11月	11日	消防本部車庫を増築（64.8㎡）
平成18年	1月	16日	携帯119直接受信開始
	3月	31日	職員1名市へ人事異動
	4月	1日	職員2名採用（計77名）
平成19年	3月	31日	9代目消防長 曾我金一氏退職
	4月	1日	10代目消防長 福手 正就任 職員3名市から人事異動（計79名）
平成20年	8月	30日	北消防署に指令車（エクストレイル）を配備
	3月	31日	10代目消防長 福手 正氏退職
	4月	1日	11代目消防長 日置憲正就任 消防本部組織改正 （消防本部に指令課を設置し、指令課に指令運用係・ 施設整備係を設置する） 消防吏員3名を採用（計81名）
平成21年	7月	5日	東海北陸自動車道全線開通
	3月	31日	11代目消防長 日置憲正氏退職 職員2名退職
	4月	1日	12代目消防長 池ノ上由治就任 岐阜県防災航空隊へ職員1名派遣 消防吏員3名を採用（計81名）
	5月	17日	中消防署指令車更新（郡上八幡ロータリークラブ寄贈；ウイッシュ）
	7月	24日	高鷲町ひるがの地内で常滑市の児童が行方不明となる。
平成22年	9月	29日	中消防署救急車更新（高規格救急車：ハイエース）
	12月	20日	消防本部に広報車を配備（郡上市危険物安全協会寄贈：フィット）
	3月	11日	中消防署水槽付消防ポンプ自動車更新
	3月	21日	北消防署救急車更新（高規格救急車：ハイエース）
	3月	31日	12代目消防長 池ノ上由治氏退職 職員1名、事務職員1名退職
平成23年	4月	1日	13代目消防長 川島和美就任 消防吏員2名を採用（計81名）
	3月	14日	中消防署に防災活動車を配備（日本消防協会寄贈：スバルサンバー）
	4月	1日	消防本部組織改正 （消防本部に予防課を設置し、中消防署に東詰所を設置する） 消防吏員1名を採用（計82名）